

科目名	ソーシャルワーク演習（社会福祉士必修）				
授業形態	演習	学年	1		
開講時期	2022年度 後期	単位数	1		
担当教員	久保 美由紀、木村 淳也				
内容および計画	<p>[授業のねらい] 社会福祉士に求められる知識や技術について、他の科目との関連性も視野にいれ基礎的な能力を涵養する。また、ソーシャルワークの価値と倫理について理解を深め、実践に必要なコミュニケーション能力を養う。</p> <p>[授業の概要] ソーシャルワーク関連の講義等と関連させながら、ソーシャルワーク実践の方法を少人数、演習形態により具体的に学ぶ。特に、個別指導や集団指導をとおしての自己理解や相談援助の基礎を学ぶとともに、ソーシャルワークの展開過程において用いられる知識と技術を実践的に理解する。</p>				
1	自己覚知（自己理解と他者理解）				
2	基本的なコミュニケーション技術（言語的技術）				
3	基本的なコミュニケーション技術（非言語的技術）				
4	基本的な面接技術（構造化、非構造化面接）				
5	基本的な面接技術（面接環境の設定）（ICTの活用）				
6	ソーシャルワークの展開過程（ケースの発見からインテークまで）				
7	ソーシャルワークの展開過程（アセスメントからプランニングまで）				
8	ソーシャルワークの展開過程（支援の実施からモニタリングまで）				
9	ソーシャルワークの展開過程（終結と事後評価およびアフターケア）				
10	ソーシャルワークの記録（支援経過の把握と管理）				
11	グループダイナミクスの活用（グループワークの構成）				
12	グループダイナミクスの活用（グループワークの展開過程）				
13	プレゼンテーション技術（個人プレゼンテーション）				
14	プレゼンテーション技術（グループプレゼンテーション）				
15	プレゼンテーション技術（授業のまとめを報告する）				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
レジュメを使用します。					
参考書					
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	受講態度・発表				50
	振り返りレポート				50
学習到達目標	[到達目標]				

	<p>① ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性を踏まえ、社会福祉士として求められる基礎的な能力を涵養する。</p> <p>② ソーシャルワークの価値規範と倫理を実践的に理解する。</p> <p>③ ソーシャルワークの実践に必要なコミュニケーション能力を養う。</p> <p>④ ソーシャルワークの展開過程において用いられる、知識と技術を実践的に理解する。</p>
先修条件	
実務経験	
その他	